

神戸市立神出中学校 学校評価報告書

校園長名 牧田 健一

記入者名 田村 哲哉

神戸の教育が目指す人間像	教育ビジョン	神戸が目指す これからの学校の姿
心豊かに たくましく生きる人間	自他を大切に 自ら考え 未来をつくる	人がつながり ともに創る みんなの学校

り学 の校 目づ 標く	健康で人間性ゆたかな生徒の育成
----------------------	-----------------

内容	重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見 等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案
育 て たい 子 ど も の 姿	①自ら考え行動する自主性を育てる	3	・事後指導として発表会が定着している。 ・地域ボランティア活動には、年間のべ600名以上の生徒が参加している状況である。	・人前に立つ機会を設けてもらっているのはありがたい。積極的にボランティア活動に参加できている姿勢は評価できる。	・「学校行事」「生徒会活動」「ボランティア活動」にこれまで以上に積極的に参加する生徒を育てたい。
	②お互いに助け合い、つながる力を高める	3	・社会科県大会で、神戸市代表3校のうちの1校としてGIGA端末を全員が活用した対話的な学びの授業を展開し、参加教員の好評を博した。	・なかなか多くの人に見てもらえる機会のない本校生徒が、県大会という大きな舞台で日頃の授業の様子を見てもらえたのは自信になったのではないかな。	・全校をあげて授業改善を実践し、毎回でなくても「対話的な学び」が社会科だけでなく、全教科で定着するように取り組みたい。
	③郷土神出を愛し、グローバルな社会に対応できる国際感覚を育てる	3	・お祭りをはじめ各種地域行事に、吹奏楽部はもちろんのこと神出っ子隊ボランティアが必ず参加する体制ができています。	・地域行事に関して、中学生の参加は大変ありがたい。その中でも、児童館との連携はものすごくうまくいっていると思う。	・神出中学校のセールスポイントとして、『神出っ子隊ボランティア』を学校・地域に根付かせ、生徒・職員の構成が変化しても維持継続する活動にしたい。
	④いじめ防止対策に関する取組み	3	・道徳評価システムが構築・運用されている。 ・いじめ防止プログラムは、小規模校なので生徒指導担当が毎回全校生徒で実施している。	・保護者の回答の中に、評価が低い方が見られる。生徒個々のカウンセリングで十分に思いを聞くことができているのか。	・テスト前に担任をはじめとする学年教師とのカウンセリング以外に、来年度はSCとの全校生徒面談を計画的に実施したい。
必 須 テ ー マ	②不登校支援の取組み	3	・家庭訪問や家庭連絡を密にしている。 ・SC、別室対応をはじめとして考えられることはすべて対応している。	・保護者の回答の中に、評価が低い方が見られる。教員側の思いと保護者・本人の思いに開きがあるのではないかな。	・不登校生徒、保護者の気持ちの寄り添った取り組みができるように配慮していきたい。
	③教職員の業務改善	4	・「ノ一残業デー」を設けなくても勤務時間の適正化は実行できている。	・「働き方改革」を進めていかないといけないが、子どもたちのために頑張っていたきたい。	・次年度は、新規採用職員が在籍するのでいろいろな面で全職員でサポートしていく体制を築いていきたい。
	④保護者・地域への情報提供・発信（すぐるの活用、ホームページ等）	4	・今年度は、年度当初から「すぐる」の活用を徹底し、紙ベースでの配布を最小限に抑えることができた。	・「すぐる」の活用は、保護者・PTA活動にとって大変ありがたい。いつでも、どこでも確認できるように助かっている。	・「すぐる」「ホームページ」とも情報発信の中心として保護者・地域に定着するようにしていきたい。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある